

## 第3回「万葉集・明日香村」を中心とした授業づくりセミナー 概要報告

奈良教育大学 大西 浩明

- ◇日時 令和3年10月23日(土) 10時~12時  
◇場所 奈良県立万葉文化館  
◇参加者 村上(平城小)・藏前(真美ヶ丘第一小)  
川田・東(学生)  
井上・阪口(万葉文化館)  
米田・大西(奈良教育大) 計8名



### ◇内容 単元構想案の検討

#### 1. 広陵町立真美ヶ丘第一小学校 藏前拓也先生

「まみいちから伝える竹取物語の魅力 ~万葉集 古典に親しもう~」小学校6年総合

**目標** 万葉集や古典に親しむ活動から地域にゆかりのある竹取物語について知り、地域に対する愛着を持つとともに、地域をアピールするための行動化を図る。

広陵町ということで以前、国語科の研究大会の会場校として竹取物語を扱っていたが、総合的な学習の時間として再構築したい。

万葉集を紹介し、作者不明の物語が1000年以上も受け継がれているのはなぜか考えさせたい。

竹取物語を読む → 地域のボランティアガイドの方から広陵町についての話を聞く → 讃岐神社と竹取公園の見学 → 竹取物語と万葉集の関わりを調べる → 万葉文化館の阪口さんの出前講座 → 竹取物語の魅力について話し合う → まみいちかぐや姫プロジェクト

現在、すでにプロジェクトの実践段階に入っている。

- ・靴下のデザイン ・和菓子のデザイン ・切手のデザイン ・かぐや姫グッズの企画
- ・かるたや紙芝居の作成 ・万葉文化館への展示 など

#### 【討議から】

竹取公園の池に龍のモニュメントがあるが、なぜ龍があるのか聞いても分からなかった。

家族など大人に聞いてもほとんど知らない。

しかし、調べてみるとやはり竹取物語と関係がある → 説明の看板を設置したい

竹取物語は竹取の翁の物語であって、イコールかぐや姫と捉えるのは少し危険。

万葉集に出てくる竹取物語とかぐや姫の話と比較し、その違いと共通点を探ることが大事。

讃岐神社の由縁など、上の学校種なら正しい情報を探る活動も必要だと思う。

阪口さんのお話に合った「歌にこもっている『こころ』は、今も昔も変わらない」という部分を大事にしたい。

靴下や和菓子、かぐや姫グッズなど、企業とコラボして商品化できたら面白い。

#### 2. 奈良市立平城小学校 村上雄太先生

「ひらけ! 万葉まきもの ~思いを伝える意味を万葉集から学ぶ~」小学校2年

**目標** 人に伝えることの意味やよさを感じることができるようにする

2年生にとって、万葉集はなじみが薄く内容も難しいが、戯書のようにユーモアのあるもの、昔話、わらべうた、コオロギなどの昆虫や花など、子どもたちにとって身近な内容も書かれている。

万葉集を用いて今とのつながりを感じることができる。

どうして昔の人は文字にして出来事を残そうとしたのかを考えるきっかけになる。

万葉集のよさを生かして、2年生の思い出を友達に伝える活動をする。

「万葉集の一日」として授業を行う

1時間目：算数：九九を使ったことば遊びを作ってみよう

2時間目：国語：昔話の読み聞かせ

3時間目：生活：昔遊びをしよう

4時間目：音楽：日本の歌を楽しもう

まとめ：国語「たのしかったよ2年生」

万葉まきものには、万葉集やその時代の遊びから抜粋した子どもたちに伝えたいことを書いておく。1時間ごとに「巻物が届いた！」という形で巻物を開き、学習の導入に活用する。

#### 【討議から】

算数で「八十一里つつ」を「くくりつつ」など、クイズ形式のような形ですとおもしろい。

→ 戯書を紹介しながら万葉集に馴染みを持たせたい。

国語の昔話は、万葉集にある水江浦島子の原文を紹介し、何の話か子どもに見つけさせたい。

→ 結末を子どもに自由に考えさせるとおもしろい。

以前、万葉文化館のイベントでやったものがあるので活用されてはどうか

生活の昔遊びは、「もっと昔遊び」としたらどうか。2年生で「昔」はいろいろありすぎる。

→ さいころを使ったすごろくのような遊びは奈良時代以前からもある。

日本でも伝わった韓国のユンノリや的矢入れなどの道具なら、館にあるので貸し出せる。

音楽では、万葉集が歌であるということを紹介したい。

→ 万葉集は歌集である。文字だけよりもリズムがある方が頭に残る。

文字より前は声の文化。当時の独特な抑揚を聞かせるのも面白いかも。

柿本人麻呂あたりを境に、歌っていたものを万葉仮名に表したのものもある

2年生で万葉集を扱うものはこれまであまり例がないので、とても楽しみ。

次回、学習指導案として再度検討したい。

#### ※次回予定

12月11日（土）10時～12時 学習指導案の検討